

## 鉄道運転士の花束 (2016)

DNEVNIK MASINOVODJE  
TRAIN DRIVER'S DIARY

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 セルビア／クロアチア

色彩 Color

時間 85分

初公開日 2019/08/17

公開情報 オンリー・ハーツ

## 【キャッチコピー】

線路は幸せを運んでくる、ごくたまたに。

## 【解説】

人身事故が避けては通れない鉄道運転士という職業の悲哀を背景に、引退間近の父と後を継ぐ養子の息子が織りなす切実にして滑稽な親子愛を、ブラック・ユーモアあふれる奇想天外な筆致で描いた異色のコメディ・ドラマ。主演は「アンダーグラウンド」のラザル・リストフスキー。共演にペータル・コラッチ、ミリャナ・カラノヴィッチ。監督はカンヌ国際映画祭での受賞経験もあるセルビアのベテラン監督、ミロシュ・ラドヴィッチ。

3代つづく鉄道運転士として誇りを持って仕事に取り組んできたイリヤだったが、これまでに28人も轢き殺してしまったという不名誉な記録を残して定年を迎えようとしていた。職業上やむを得ぬことで、罪に問われるものではないが、心には大きなトラウマを抱えているのも事実。そのためカウンセリングは欠かせず、心理カウンセラーのヤゴダとは強い信頼関係で結ばれていた。そんな中、後を継ぐ決意をした養子のシーマは、鉄道運転士の見習い訓練に励んでいた。しかしイリヤから事故は避けて通れないと言い聞かされてきたシーマは、人を轢いて一人前という極端な強迫観念に駆られ、無事故運転が続いていることで、かえって極度の不安と恐怖で押しつぶされそうになってしまう。見かねたイリヤはシーマのためにと、思いも寄らぬ行動に出るのだったが…。

## 【クレジット】

監督	ミロシュ・ラドヴィッチ	Milos Radovic	
製作	ラザル・リストフスキー	Lazar Ristovski	
	ペータル・リストフスキー	Petar Ristovski	
脚本	ミロシュ・ラドヴィッチ	Milos Radovic	
撮影	ドゥシャン・ヨクシモヴィッチ	Dusan Joksimovic	
編集	ジョルジェ・マルコヴィッチ	Dorde Markovic	
音楽	マーテ・マティシッチ	Mate Maticic	
	シーモン・マティシッチ	Simun Maticic	
出演	ラザル・リストフスキー	Lazar Ristovski	イリヤ
	ペータル・コラッチ	Petar Korac	シーマ
	ミリャナ・カラノヴィッチ	Mirjana Karanovic	ヤゴダ
	ヤスナ・ジュリチッチ	Jasna Djuricic	
	ニーナ・ヤンコヴィッチ	Nina Jankovic	
	ムラデン・ネレヴィッチ	Mladen Nelevic	
	ダニカ・リストフスキー	Danica Ristovski	